

R7-夏季選手権大会 競技上の注意事項(お願い)

- 競技の運営が円滑に行われるよう、次の諸点にご協力ください。
- 1 原則としてすべての試合を当該コートの前回の試合の敗者によるソロチェア・アンパイア(SCU)方式で行います。ただし、1巡目の対戦はセルフジャッジ方式で行います。
- 2 大会に参加できない生徒が出た場合の措置については棄権とし、代わりの選手が出る時はオープン参加とします(勝利しても勝ち上がれない)。
- 3 出場選手は受付時間に注意し、必ず受付をするようにしてください。
- 4 試合前のウォームアップはトスによるエンド決定の後に開始し、原則としてサーブ4本のみとします。ただし、上位戦は3分間練習を行うことがあります。
- 5 25秒ルール・90秒ルールを厳守してください。
- 6 ユニフォームへのゼッケン着用等による学校名表示を励行してください。また、大会参加における服装規定は、現行の全国高体連テニス専門部服装規定に則るものとします。
- 7 試合はオーダー・オブ・プレー表(OP)の指示により進行します。控え(next=プレー中の次の試合)の選手は、OPに注意して前の試合終了後直ちにコートに入り試合を始めてください。
- 8 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、会場の変更を行うことがあります。高体連テニス専門部ホームページからの情報にご留意いただくとともに、大会本部の指示に従ってください。
- 9 試合球は、男女ともダンロップフォート(イエロー)。出場する選手が準備して下さい。ドロー番号の少ない(小さな)選手(=以後、「若番」と称する)が試合開始時に開封し、試合球として使用します。対戦後、勝者が未開封のボールを持ち帰り、次の対戦に使用してください。開封されたボールは敗者が持ち帰ってください。
- 10 ベンチは本部に近い方、得点板は上の段を若番が使用します。

《個人戦の注意事項》——【夏季大会形式】

- 1 試合形式について
 - ① 《シングルス》全ての対戦を6ゲーム先取・ノーアドバンテージ方式(ノーレット)で行うことを原則とする。5ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用する。また、準決勝戦敗者による3位決定戦ならびに準々決勝戦敗者による5~8位決定戦を行う。
 - ② 《ダブルス》全ての対戦を1セットマッチ(デュース有り、ノーレット)で行うことを原則とする。6ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用する。準決勝戦敗者による3位決定戦も行う。
- 2 荒天時の大会日程について
 - ① 日程がずれてきても、原則として日程に明記してある種目についてはその当日に実施する。未消化試合は予備日に行う事を原則とするが、詳細は本部の指示に従うこと。

- コートマナーの向上について(以下の場合は、ペナルティーが課されることもあります)
 - ・ 試合に際し選手がコートに入っていない場合…(オーダー・オブ・プレーをこまめに確認すること)
 - ・ レフェリーや審判に従わない場合…(選手へのアドバイス、相手への言動、審判のジャッジに対するクレームをしてはいけません)
 - ・ ケイレンなどによりプレーが続行できない場合…(運営側から試合をとめることもあります)
 - ・ その他、コード・バイオレーションなどルールに著しく違反した場合

- 大会期間中における熱暑対策について
 - ・ こまめに水分、塩分を補給し、熱中症予防に努めてください。
 - ・ ポイント間の給水やタオルの使用を認めます。タオルを使用する場合はコート後方(フェンス上が望ましい)に置いてよい事とします。
 - ・ サイドチェンジ時のレスト中の日傘(原則、黒または紺)の使用を認めます。
 - ・ 試合間のレストの時間はこれまで通りを目安としますが、最大30分取ることができることとする。
 - ・ 敗者審判時には帽子の着用、タオルの使用、積極的な水分補給を励行して下さい。日傘も使用可。
 - ・ シングルの試合に限り、選手1名につきボールパーソン1名を認めます。速やかな大会運営にご協力ください。(ボールパーソンは、選手へのアドバイスや応援、拍手をすることはできません)

- その他
 - ・ 試合中の動画撮影、写真撮影等については両選手、顧問の許可をとってから行ってください。
 - ・ JTAルールブックに則り、選手には試合終了後の挨拶で握手をお願いしています。